

# 提案書記載依頼事項及び評価項目

公開範囲						
項番	大項目	小項目		提案書記載依頼事項	評価項目	配点
1	1 提案者について	(1)	経営状況等企業概要	○入札参加事業者の事業者（共同企業体の場合はすべての構成事業者）としての事業継続性（経営状況）を提示すること。	○受託事業者（共同企業体の場合はすべての構成事業者）について事業の継続性（経営状況）を確認する。	120
2		(2)	企業が保有する公的資格（品質／セキュリティ）	○入札参加事業者が、事業者として品質や組織管理等の施策を積極的に取り込んでいるか判断できる資格について提示すること。	○公的資格の保有状況について評価する。 ・品質マネジメントシステム（ISO9001） ・環境マネジメントシステム（ISO14001） ・個人情報保護マネジメントシステム（ISO/IEC15001） ・プライバシーマーク認証 ・ITサービスマネジメントシステム（ISO/IEC20000-1）	
3		(3)	地元企業	○入札参加事業者（共同事業体の場合は主に構築・運用業務を担当する事業者）が、本市内に本店や支店を有する場合や、再委託先事業者が本市内に本店又は支店を有している場合は提示すること。	○受託者（共同企業体の場合は主に構築・運用業務を担当する事業者）が本市内に本店や支店を市内に有する場合や、再委託先事業者が本市内に本店又は支店を有していることを評価する。	
4		(4)	構築状況について	○入札参加事業者が、R6～8年度にシステム構築を予定している、人口100万人以上を保有する消防本部名及び稼働年について提示すること。 ○入札参加事業者（共同事業体の場合は主に構築・運用業務を担当する事業者）内における消防指令システムの構築が可能なSE数を提示すること。	○R6～8年度の期間中の構築予定状況について評価する。 ○消防指令システムを構築できるSE数について評価する。	

項番	大項目	小項目		提案書記載依頼事項	評価項目	配点
5	2 基本方針	(1)	本システムで実現すること	<p>○本システムの再構築にあたり、次にあげる導入効果を得るためには、どのような点に留意し、どのような機能を備え、どのように実現していくか、それぞれ記述するとともに、必要に応じて図示すること。</p> <p>①経済性 ②信頼性 ③可用性 ④保守性 ⑤保全性 ⑥安全性・機密性</p>	<p>○本市が求める実現内容に関する対応策の具体性について評価する。</p> <p>・各対応策がどの効果に資するのか明示すること。</p> <p>・ハードウェア・ソフトウェア、運用保守業務などの各業務において発揮される効果について記載すること。</p> <p>・具体的な技術提案を明記すること。</p> <p>・システムを安定的・継続的に稼働させる上での留意点について、明記すること。</p> <p>・障害等を未然に防ぐ・最小限に防ぐための対策について、明記すること。</p>	100
6		(2)	導入効果に対する考え方	<p>○仕様書「1.5 新システム導入による効果」に記載された内容を踏まえ、どのような効果に寄与する機能等があるのかを提案すること。</p>	<p>○本市にとって何が有益かつ効果の高い内容であるのかを理解しているか評価する。</p> <p>○新システムの導入効果として、具体的かつ実現性の高い効果が記載されているか評価する。</p>	
7		(3)	提案するパッケージシステムの実績	<p>○提案する消防業務のパッケージシステムについて、平成26年度以降の構築実績のうち、人口規模50万人以上の消防本部名を記載すること。なお、共同指令センターの場合にはその旨を付記すること。</p> <p>○異メーカーの消防救急デジタル無線システムとの接続実績がある場合には、その内容について付記すること。</p>	<p>○提案する消防業務パッケージシステムについて、十分な実績を有しているか確認する。</p> <p>○消防救急デジタル無線システムが異メーカーの場合の接続実績を確認する。</p>	
8	3 機能要件	(1)	パッケージ標準への適合性	<p>○本市が示す機能要件について、提案するパッケージシステムの適合性を「様式10機能要件回答書」に記入し回答すること。</p>	<p>○本市が示す機能要件について、どの程度カスタマイズ無しで対応可能か、対応可否の○の数で確認する。</p>	80

項番	大項目	小項目	提案書記載依頼事項	評価項目	配点
9		(2) 【指令機能】司令課	<p>○迅速な災害地点決定・指令に係る支援機能について、下記の内容を提案すること。</p> <p>・多様な災害地点の決定方法として、路線図や道路図のイラスト等から地点確定ができる機能について提案すること。</p> <p>・受信時に大まかな内容しか把握できない場合の地点確定における対応策について提案すること。</p> <p>・消防隊等の集結地点について、災害地点とは別の集結地点を設定する機能について提案すること。</p>	<p>○路線図や道路図の地図情報等から地点確定ができる機能を評価する。</p> <p>○受信時に大まかな内容しか把握できないときに、広範囲の「半径〇mエリア」や「高速道〇～△地点」等での地点確定ができるかを評価する。</p> <p>○災害地点とは別の任意の地点に集結地点を設定でき、集結地点から直近の部隊選出ができる機能を評価する。さらに、山岳やトンネルなど特殊な災害の集結地点は予め設定できる機能があればなおよい。</p>	
10		(3)	<p>○指令事故防止に係る支援機能について、下記の内容を提案すること。</p> <p>・指令操作ミス防止の観点から、予め決めておいた災害種別でワンタッチで指令ができる機能について提案すること。</p> <p>・事案情報の取り違えをなくすシンプルな操作を提案すること。</p> <p>・指令書記載以外の通報情報等を共有する機能を提案すること。</p> <p>・出勤途上にある出勤隊に、詳細な出勤場所を共有する機能を提案すること。</p> <p>・119番通報等の通話音声記録を指令操作と同時進行で確認できる機能を提案すること</p>	<p>○予め決めておいた災害種別でワンタッチで指令ができる機能を評価する。</p> <p>○事案ごとに完結した動作（事案画面から画面遷移せずに車両運用端末装置（以下「AVM」という。）にメッセージ送信ができる等）ができるか評価する。</p> <p>○指令台で取得した通報内容等を、出勤隊がAVMで参照し情報共有できる機能を評価する。</p> <p>○指令台地図画面上で矢印等を手書きで追加入力し、出勤隊へ玄関・進入口等の視覚情報を送信する機能を評価する。</p> <p>○119番通報やその他の通話音声記録を録音再生しながら、他の画面操作ができる機能を評価する。</p>	

項番	大項目	小項目	提案書記載依頼事項	評価項目	配点
11		(4)	<p>○救急出動逼迫時における支援機能について、下記の内容を提案すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・逼迫時に指令時間を短縮する機能を提案すること。</li> <li>・救急逼迫の状況把握ができる機能を提案すること。</li> <li>・事案の緊急度を付与した上で事案を保留する機能を提案すること。</li> </ul>	<p>○切替により救急指令の指令文言を省略できる機能を評価する。</p> <p>○予め設定しておいた残隊数になると、指令台に知らせるアラート機能を評価する。</p> <p>○緊急度を付与し事案保留する機能を評価する。本来、直近の救急隊を出動させるべき事案であるが、消防隊や遠方の救急隊しか出動させられなかった事案について、直近の救急隊が可動になれば、すぐに出動させられるよう、事案一覧において当該事案に色付け等の目印がつけられればなおよい。</p>	
12		(5)	<p>○以下のような情報共有における支援機能（指揮隊タブレット）について提案すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高次出動切り替え時等に指揮隊が現場で部隊把握ができる機能を提案すること。</li> <li>・現場からの情報を視覚的観点から共有をする機能を提案すること。</li> </ul>	<p>○高次出動切り替え時等に、AVMや指令書に頼らずに、指揮隊が「どの部隊が出動しているか」について把握できる機能を評価する。</p> <p>○活動状況や被害状況を視覚的観点から現場と共有する機能を評価する。</p>	
13		(6) 【OA】警防課	<p>災害活動の報告書について、入力の際の利便性について提案すること。</p>	<p>○災害種別ごとに必須項目をシステムが自動選択し、明示できるかを評価する。</p> <p>○必須項目の明示の方法がいかに分かりやすいかを評価する。入力時に判断させることが困難な場合は、入力漏れのエラー箇所の明示等による方法でも構わない。</p> <p>○必須項目の変更等について職員によるメンテナンスが可能か評価する。</p>	
14		(7) 【OA】職員課	<p>年度毎に職員に配分される被服点数の各職員への付与方法を、提案すること。</p> <p>特に点数配分は、職員の年齢、勤務年数、業務内容（特定の部署に初回配属のみ当該年度もしくは配属期間中減点等）により決定するため複雑な仕組みとなるが、大幅な改修となる場合において、職員でも対応可能となる仕組みを提案すること。</p>	<p>○複数の条件を指定して、各職員に対する点数付与が行えるかを評価する。</p> <p>例）年齢、勤務年数、定年〇年前 等 各種条件による算出</p> <p>○点数付与作業が本市職員対応となる場合の負荷軽減への取り組みについて評価する。</p> <p>例）計算ロジックを職員でも修正可能</p> <p>外部で計算した結果を取り込める仕組みの場合、外部計算で必要となる情報抽出の容易性（勤続年数等の計算結果情報が取得できる等）、取り込みにおける作業の容易性</p>	

項番	大項目	小項目	提案書記載依頼事項	評価項目	配点
15		(8) 【OA】予防課（ケアライン通報）	<p>OAシステムで登録したケアライン登録者の登録情報の活用について、下記の内容を提案すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアライン登録者からの通報であることが判明した際に、ケアライン登録情報について通信指令員が容易に確認できる方法について提案すること。</li> <li>・消防隊若しくは救急隊出動時に、指令書に必要情報が印字されるなど、現場出動部隊が活用できる方法について提案すること。</li> </ul> <p>・ケアライン登録情報の管理ができること。</p>	<p>○ケアライン登録者からの通報受信時に指令台および指令書への表示・反映方法について評価する。</p> <p>○指令台及び指令書のそれぞれに反映される情報項目について評価する。</p> <p>○OAシステム上で担当者が容易にケアライン登録情報の管理ができるか。</p>	250
16		(9) 【OA】査察課	<p>○防火対象物、建築同意、消防用設備等、各種届出、査察等のマスタ情報と各種履歴のデータ構成・管理の考え方について利便性の観点から提案すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地/棟の関係性、階情報、消防用設備等、各種報告書</li> <li>・各台帳のユニークな番号の取得及び台帳検索方法</li> <li>・防火対象物を中心とした、各種届出の履歴管理（建築同意～査察違反処理まで一連）</li> </ul>	<p>○本市が想定する利用方法に合致した設計思想となっているかを評価する。</p> <p>○法令・本市の利用方法に適した単位での報告書の紐づけが可能かを評価する。</p> <p>○防火対象物を中心とした各種届出の履歴管理が出来ているかを評価する。</p>	

項番	大項目	小項目	提案書記載依頼事項	評価項目	配点
17		(10) 【OA】消防団支援課	<p>○消防団支援課の業務内容は運用開始後に当初設計内容以外の対応や変更対応等が他課と比較し、多く発生している。これらの対応における以下の観点における支援内容について提案すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SE対応が必要となる場合のサポート窓口に連絡してから、初期対応（メール・電話での一次回答）までの時間（順守率9割以上）</li> <li>・新規帳票作成時の支援内容</li> </ul> <p>○振込先情報に使用する金融機関情報（金融機関名・コード、支店名・コード）のメンテナンス方法について提案すること。</p>	<p>○SE対応が必要となる場合の初期対応時間が翌営業日中である場合、高く評価する。</p> <p>○新規帳票作成時に、改修対応が自由帳票対応かの相談ができるか。</p> <p>○自由帳票作成時に、電話・メール・web会議（画面共有）・訪問による支援がある場合、高く評価する。</p> <p>○金融機関情報メンテナンスについて以下の点について評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メンテナンス主体【職員 or 事業者】</li> <li>・メンテナンス情報（全銀協フォーマット）の入手【職員 or 事業者】</li> <li>・更新頻度</li> </ul>	
18		(11) 【OA】危険物保安課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険物施設の許可番号（※）の付与について、現在当市で運用している許可番号のルールに基づき管理する方法について提案すること。 ※現在の許可番号は署所番号（2桁）＋連番（4桁）の6桁でシステム上で自動採番されている。変更許可申請の際には、許可番号に枝番号（最大4桁）が付与され、許可番号として1許可1枝番号としている。 例）許可番号第591000号に対し、複数回変更許可申請があった場合第591000-15号のように管理する。</li> <li>・OAシステムに登録することができる情報を基にして国統計等の各種統計情報を出力/印刷に係る対応方法について提案すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去に付与している許可番号は履歴データとして扱うことが標準機能で実現出来るかを評価する。</li> <li>・許可番号はシステム上で自動採番でき、当然に二重登録を防ぐ機能を標準機能で有しているかを評価する。</li> <li>・対象となる統計情報は危険物施設国統計、コンビナート施設関連国統計、その他市統計等の各種統計が対象となるため、職員自らが必要な検索条件を選択して任意の統計表を容易に作成できること。また、危険物施設国統計については、システム内で全て完結できるかについて評価する。（特に、20表、22表、25表）</li> <li>・任意の統計表の作成に関して、マニュアルの整備やサポート体制が本市にとって有益かを評価する。</li> <li>・国統計は年度によって改訂されることがあるため、改訂における対応期間・反映方法について評価する。</li> <li>・法令改正等によってOAシステムに登録すべき内容に変更が生じた場合における対応期間・反映方法について評価する。</li> </ul>	

項番	大項目	小項目		提案書記載依頼事項	評価項目	配点
19		(12)	【OA】施設課	<p>○車両整備等に関する関係法令に即した内容とすることは必須であり、法令改正に併せて迅速かつ容易に管理項目を変更でき、以下の観点で優れた情報管理ができる提案を記述すること。</p> <p>【操作性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車両検索</li> <li>・日付検索</li> <li>・数値等入力</li> <li>・月報等帳票出力</li> </ul> <p>【視認性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・添付するデータ</li> </ul> <p>【サポート体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・容量及び入出力項目の変更等に対するサポート体制</li> </ul>	<p>○車両情報（走行距離、給油量、点検整備結果及び自動車検査証等）を体系的かつ容易に管理できるか評価する。</p>	
20		(13)	【OA】共通事務	<p>○電子承認を実現するための機能について具体的に記述すること。</p> <p>○電子申請対応にあたり、実現させる機能の説明および課題に対する対応策等、具体的に記述すること。</p>	<p>○電子承認を実装する際の以下の点における利便性を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・申請入力（報告書等を入力後、どのように電子申請を行うか）</li> <li>・承認方法（承認者への告知、承認手順）</li> </ul> <p>○電子申請対応を実装する際の以下の点における利便性を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・申請内容の消防OA機能への取り込み</li> <li>・マスターとの突合方法（申請内容にキー情報を持たない場合）</li> </ul>	30
21	4 非機能要件	(1)	可用性・信頼性	<p>○可用性を確保するため実現手法と、当該実現手法を選定した理由について、下記の内容を提示すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冗長化構成を選択した範囲</li> <li>・障害発生時のダウンタイム抑制手法</li> <li>・主要箇所の予測ダウンタイム</li> <li>・障害予兆検知との連携手法</li> <li>・負荷分散機能の内容</li> <li>・障害時の影響範囲の極小化の取組み</li> </ul>	<p>○可用性・信頼性に係る内容が本市の要求をみたし、少ないダウンタイムにて業務が継続できることを評価する。</p> <p>○それぞれの機器の障害発生時のダウンタイムが具体的に示されており、当該ダウンタイムからの復旧時間についても具体的に示されているかを評価する。</p> <p>○障害予兆検知・動的移行などの可用性を高める機能を評価する。</p> <p>○サーバやネットワーク等における負荷分散の考え方について、具体的に説明されており、かつ本市にとって有益な内容であるか評価する。</p> <p>○冗長化の方式・冗長化対象機器等の信頼性を保持する方法に関する考え方及び方針について、具体的な内容であれば評価する。○各方針が、SLAを達成する上でどのような明確で有効性があるか評価する。</p>	



項番	大項目	小項目		提案書記載依頼事項	評価項目	配点
22		(2)	拡張性	<p>○新しい機器や新しい機能が必要になった場合の拡張性について、本市の要求を満たすことの説明を記述すること。また、その構成を採用した理由を具体的に記述すること。</p> <p>○今後、他団体（人口10～30万人規模）が指令業務の共同運用に参画した場合の対応可否について記述すること。なお、プログラム改修で対応可能なのか、更新が必要なのかについても記載すること。</p> <p>○端末側がWindows11にバージョンアップする等、OSのバージョンアップが必要になった場合の考え方（対応方針・概算費用）について、具体的に記述すること。</p>	<p>○拡張性を可能とする項目が具体的に記載され、かつその構成を採用した理由が具体的に説明されているか評価する。</p> <p>○今後、他団体（人口10～30万人規模）が指令業務の共同運用に参画した場合の概算費用を評価する。</p> <p>○OSバージョンアップへの対応方針が具体的に説明されているか評価する。</p>	320
23		(3)	セキュリティ	<p>○セキュリティ要件の内容が本市の要求をみたしていることの説明を具体的に記述すること。特に、本システムにおける留意点、そしてその対策を具体的に記述すること。</p> <p>○不正利用対策について、具体的に記述すること。</p> <p>○サーバ側、端末側の情報漏洩対策について具体的に記述すること。</p> <p>○ログ取得、ログ解析、ログ保存期間の考え方、ログ消失防止、ログ改ざん防止等の管理方法を具体的に記述すること。</p> <p>○外部からの攻撃等、ウイルス感染の恐れがある場合の、感染拡大防止措置及び原因の特定方法について、有効な手段を具体的に示すこと。</p> <p>○セキュリティインシデントが発生した場合のユーザ側と受託者側の作業項目や作業内容について、それぞれ明確に記載すること。</p> <p>○インシデント発生後のセキュリティ改善作業及びユーザ側のセキュリティ改善に向けた支援策の内容について、明確に記載すること。</p>	<p>○セキュリティ要件の内容が本市セキュリティポリシーに記載された要求水準をみたすとともに、本システムにおける留意点、そしてその対策が具体的に説明されている場合に評価する。</p> <p>○不正利用対策について、具体的に説明されているか評価する。</p> <p>○情報漏洩対策について評価する。</p> <p>○ログ取得、ログ解析、ログ保存期間の考え方、ログ消失防止、ログ改ざん防止等の管理方法が、具体的に実行性が高いかを評価する。</p> <p>○ウイルス感染の恐れがある場合、感染拡大防止措置及び原因の特定方法について、より有効な手段が具体的に示されているかを評価する。</p> <p>○セキュリティインシデント対応について、ユーザ側の対応内容と受託者側の役務作業が明確に記載されているかを評価する。</p> <p>○セキュリティ改善作業及びユーザ支援として行うセキュリティインシデント分析を、より効率的に行うための手段について記載されているかを評価する。</p>	
24		(4)	ユーザビリティ	<p>○以下の業務内容についてシステム操作手順を記載し、審査の際のプレゼンテーションにおいてデモンストレーション提示すること。</p> <p>(1)データ抽出手順</p> <p>(2)電子承認書類作成手順</p> <p>(3)電子申請書類取込手順</p>	<p>○画面上で業務を実施するにあたり、操作が容易であり、不慣れな職員であっても直感的に操作が可能であるか評価する。</p>	



項番	大項目	小項目		提案書記載依頼事項	評価項目	配点
25	5 構築要件	(1)	プロジェクト管理	○本プロジェクトで適用するプロジェクトマネジメント手法について具体的に記述すること。	○プロジェクトマネジメント手法やプロセス、仕組み等が具体的に有効であると認められるか評価する。 ○進捗の定量的な管理や遅延時の対応（遅延検知、リカバリ方法等）、工程管理基準が、具体的に説明されており、かつ本市にとって有益な内容であるか評価する。 ○本稼働時の品質を確保するための工程別の品質管理方法（定量的・定性的な管理基準等）、品質管理体制、品質管理基準等が、具体的に提示されており、その実行性が高いか評価する。	
26		(2)	構築プロジェクト体制	○本プロジェクトに従事する主要メンバーについて、役割、構築実績、経験、スキルについて提示すること。 ○再委託先が存在する場合は再委託先企業名、再委託内容を明確に提示すること。	○プロジェクトマネージャーおよびプロジェクトリーダーの消防指令システム構築の実績・経験・スキルについて評価する。 ○開発構築及び運用保守にあたる責任者が明確であり、業務実施における責任体制が有効かを評価する。 ○適切な役割分担となっているか評価する。	

項番	大項目	小項目		提案書記載依頼事項	評価項目	配点
27		(3)	要件定義・基本設計	○要件定義・基本設計工程において、本市業務を把握した上でプロジェクトを推進するための方法と体制について具体的に記述すること。	○システムを利用する業務フローについてどのように整理していくのかの手法と体制について評価する。 ○業務フローを踏まえ、むやみなカスタマイズではなく、適切と考える運用回避方法の提案など、具体的な進め方について評価する。	180
28		(4)	テスト要件	○各テスト工程におけるテスト仕様の策定手法について、受託者内部の標準的な決裁手順も含め、具体的に記述すること。 ○動作検証における対応方法について記述すること。 ○性能評価方法について記述すること。 ○テスト時点で想定のパフォーマンスが出なかった場合の対処方法について具体的に提示すること。	○各テスト工程において、網羅性、具体性、重要度に配慮したテスト仕様となっているかについて、策定方法と受託者内部の体制を評価する。 ○動作検証について、問題発生時の対応方法（復旧方法、原因究明、対策等）が具体的に説明されており、かつ本市にとって有益な内容であるか評価する。 ○性能評価方法について、具体的に説明されており、かつ本市にとって有益な内容であるか評価する。 ○原因の調査手順およびチューニング方法について、具体的に説明されているか評価する。	
29		(5)	移行要件	○新システムへの移行方針（通信回線、他システムとの連携等の移行を含む）について具体的に記述すること。	○移行に際しての作業内容・支援内容が、具体的に説明されており、かつ本市にとって有益な内容であるか評価する。 ○移行作業の役割分担が明確に示されているか評価する。 ○移行時の留意点が具体的に示され、本市にとって有益な対策が示されているか評価する。	
30		(6)	研修要件	○本市職員に対する各種研修の内容及び研修方法について具体的に記述すること。	○本市職員に対する各研修の実施内容、役割分担、スケジュールが適切で具体的な提案がされているか評価する。	

項番	大項目	小項目		提案書記載依頼事項	評価項目	配点
31		(7)	成果物	<p>○仕様書記載の成果物について具体的に提示すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設計書，仕様等にかかるドキュメント名と内容</li> <li>・運用保守の手順等にかかるドキュメント名と内容</li> <li>・上記ドキュメント類の体系と位置づけ</li> </ul> <p>○本システム稼働後のドキュメント類の維持管理方法及び最新版への更新方法（更新頻度，更新手順）について提示すること。</p>	<p>○各工程の成果物および各成果物の記載粒度、設計・構築時の作業内容が具体的に説明されており、かつ本市にとって有益な内容であるか評価する。</p> <p>○成果物間の整合性を確保する方法が具体的に明示されているか評価する。</p> <p>○稼働後のドキュメント類の維持管理方法・更新方法が具体的に明示されているか評価する。</p> <p>○受託者内部で最新のドキュメントとその履歴を管理する体制が確立されているか評価する。</p>	

項番	大項目	小項目		提案書記載依頼事項	評価項目	配点
32	6 運用保守要件	(1)	運用体制	<p>○運用体制（活動チームごとの構成・担当者の配置状況について図示すること）、要員の役割を明示したうえで、その考え方、根拠等の説明を提示すること。再委託を予定している場合には、再委託についての考え方、再委託先との役割分担、再委託先が実施した業務に対する受託者の責任体制についても記述すること。</p> <p>○上記体制図に記載したメンバーの経歴（資格、経歴・実績、得意分野、経験年数）、専任/兼任の別、兼任の場合は本業務への従事割合を提示すること。</p>	<p>○作業分担、要員（専門知識、スキル等）、再委託先との役割分担が具体的に示されており、かつ本市にとって有益な内容であるか評価する。</p> <p>○参画するメンバーの経歴、関与度合い（専任/兼任、従事割合）が具体的に適切か評価する。</p> <p>○適切な責任者が指定され、責任体制が明確に示されているか評価する。</p> <p>○導入するハードウェアベンダー及びソフトウェアベンダーが直接的な運用体制（メンバー）に含まれていれば高く評価する。</p>	370
33		(2)	運用作業	<p>○システム運用に必要な作業について、作業項目（各種申請時対応、チューニング等）の一覧とそれぞれの業務フローを提示すること。</p> <p>○構成する機器・ソフトウェアのセキュリティリスクに関する情報の入手方法と、パッチ適用の可否やファームウェアのバージョンアップを判断する方法と確実に実施していくための運用について、業務フローを提示すること。</p> <p>○監視業務（死活監視、性能監視、セキュリティ監視（不正アクセス、ウイルス等）について、監視体制、監視手順について提示すること。</p> <p>○品質目標基準を達成するための改善提案の方針及び方策について提案すること。なお、方策については他の項目で提案している事項と重複してもかまわないが、その場合はどの項目と重複しているかを記載すること。</p> <p>○本市からの改善その他の依頼事項に対して、どの程度の期間で対応を実施する予定なのかを提示すること。</p>	<p>○運用作業の内容が、具体的に説明されており、かつ本市にとって有益な内容であるか評価する。</p> <p>○運用実績にもとづく改善提案の内容について、具体的に説明されており、かつ本市にとって有益な内容であるか評価する。</p> <p>○監視業務の手法や体制が具体的に有効か評価する。</p> <p>○SLAを達成するための方針と具体的な方策が明確で有効性があるか評価する。</p> <p>○運用に生じる事象に対する本市の改善その他の要望について、対応する体制が十分に明確化評価する。</p>	

項番	大項目	小項目		提案書記載依頼事項	評価項目	配点
34		(3)	障害対応方針・手法	<p>○障害対応方針・手法について下記の点を考慮して提示すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一連の障害対応のプロセス</li> <li>・障害対応体制と各責任者</li> <li>・緊急時対応の迅速さの確保</li> <li>・開発元に対するエスカレーション手順</li> <li>・受託者社内でのエスカレーション手順と関係部署</li> <li>・障害一次切り分け手段</li> <li>・障害影響範囲の見極めと障害が影響する関係者への周知方法</li> <li>・問い合わせ対応</li> <li>・障害復旧処理</li> <li>・障害原因究明と再発防止</li> <li>・障害報告</li> <li>など</li> </ul> <p>○再委託を想定している業務がある場合の、受託者への連絡体制と受託者内部の責任体制について提示すること。</p> <p>○災害発生時の対応手順，及び訓練等の実施内容について揭示すること。</p>	<p>○本システム障害発生時の復旧作業等について、障害原因に応じて、手順やプロセスが具体的に明示されているか評価する。</p> <p>○本システム障害発生時の障害原因究明と障害解消に向けた対応（体制・報告・再発防止等）の手法が具体的に説明され、その実行性が高く、かつ本市にとって有益な内容であるか評価する。</p> <p>○本システム障害時の復旧に向けた本市職員の対応策が具体的に説明され、かつ本市にとって有益な内容であるか評価する。</p> <p>○障害対応時の関係者（本市、再委託先、メーカー等）のエスカレーション手順、関係者の対応内容及び受託者の責任体制が具体的に説明され、本市にとって有益な内容であるか評価する。</p> <p>○再委託先がある場合でも、責任体制が明確であるか評価する。</p>	
35	7 留意事項	(1)	業務の引き継ぎに関する事項	<p>○業務の引継ぎの際の対応内容について具体的に記述すること。</p>	<p>○今回構築するシステムの次のシステムへの移行の際の支援作業（引継書・設定内容・データ移行・QA対応）が具体的に説明され、その実現可能性及び効率性が高く、かつ本市にとって有益な内容であるか評価する。</p>	10
36	8 その他	(1)	追加提案	<p>○仕様書上、提案を求められていないが、本市にとって有益であると考え内容について追加費用なしで提案すること。</p> <p>なお、提案した内容については必要性、有効性をシステム全体のあるべき姿も踏まえて、構築のみならず運用保守も含めて業務量、経費、本市職員の業務負担の観点からも検討した結果を提示すること。</p>	<p>○本市にとって有益であり、特に優れていると判断した追加提案1件ごとに採点し、最大4件まで評価する。</p>	40
						1500